

Ⅱ 機械化(作業システム)

① 作業手順の工夫

☆ 「伐倒」 + 「木寄せ」 をまとめて実施！

流れ作業が円滑
に進み、障害の
発生なし！

← ウインチによる「木寄せ」の状況

木寄せ完了後に「プロセッサ」を投入！！

Ⅱ 機械化(作業システム)

① 作業手順の工夫

臨機応変な
フォーメーション
の実現！！

☆ 従 来 型

施行地①

A 班

縦割り？

☆ 再編後(1 班体制)

施行地①

先行
伐採

(2 人)



現場状況に
応じた「小隊」
で並列作業

施行地②

B 班

施行地②

伐倒
木寄

(3 人)



施行地③

造材
運搬

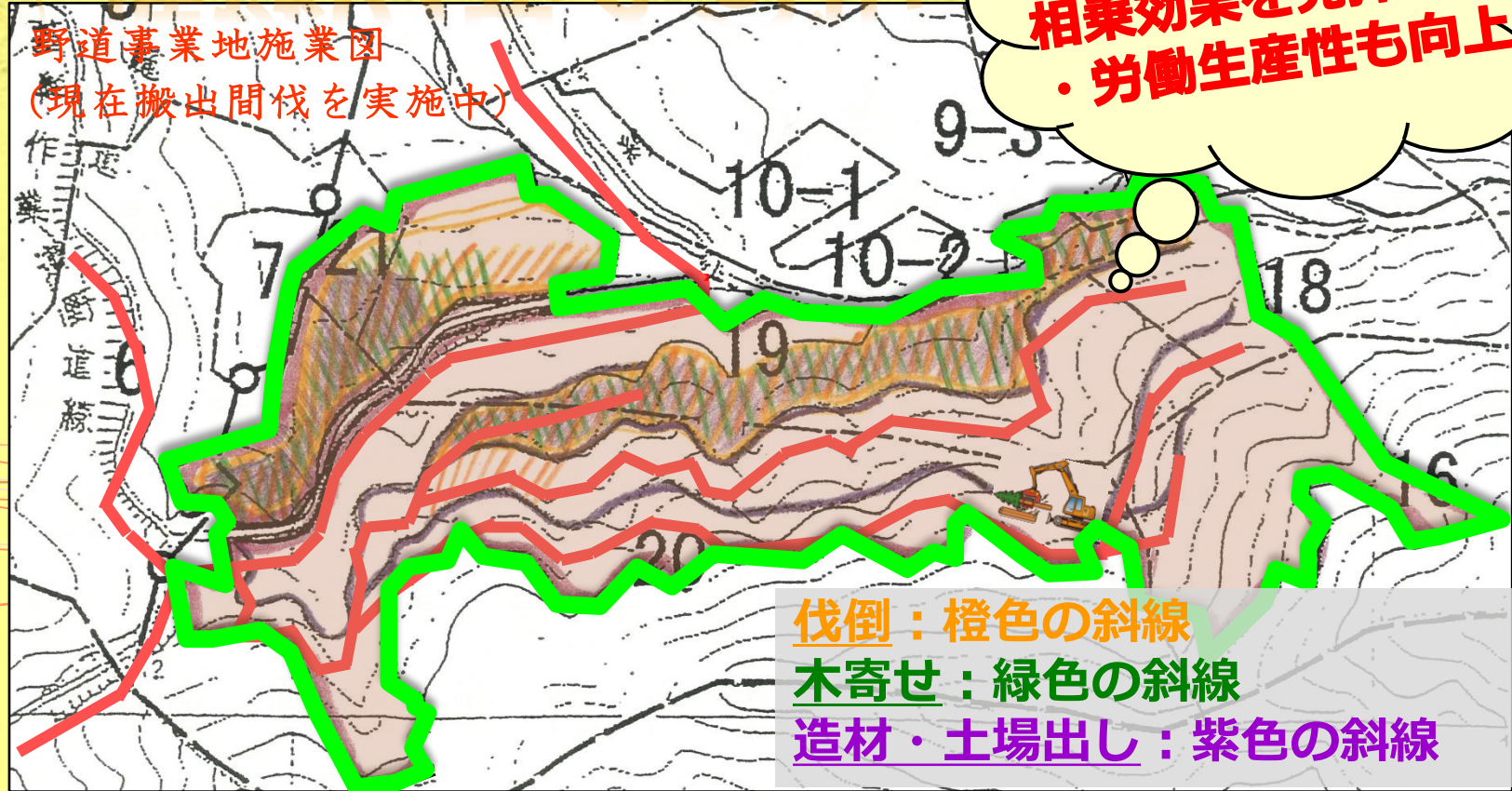
(3 人)



Ⅱ 機械化(作業システム)

② 進捗の見える化

- ・ 機械化と見える化で相乗効果を発揮！
- ・ 労働生産性も向上！



○労働生産性(1人1日あたりの木材生産量) ☆プロジェクト前(H24) 3.13m³/人・日 ☆プロジェクト期間内目標(H29) 3.97m³/人・日

仕事の段取りが格段に向上！！

Ⅱ 機械化(作業システム)

③ 保守経費の縮減

○機械ごとに管理者を任命し、月例点検を任せるなど、責任の所在を明らかにすることで効果を発揮！

労働強度を
軽減し魅力ある
職場に！！

機械を大事に扱う心が芽生え、保守経費を圧縮！！



プロセッサ(平成19年導入)



プロセッサ(平成25年導入)



フォワーダ

Ⅲ 団地化(事業量の確保)

☆「我河内モデル」とは？

- 市町有林率全国 2 位
 - 市町有林面積全国 6 位
 - 公有林の比率約 2 割
- の特徴を活かす！

「公有林」と「私有林」をセットにした
「やまぐち型団地」の取り組み

写真：我河内事業地の状況（平成27年度に2回目の搬出間伐を実施）

Ⅲ 団地化(事業量の確保)

☆ 個人有林を重点的に団地化

○蔵目喜加速化団地における集約化の状況

区域面積の9割が個人有林。うち、搬出間伐対象面積の5割にあたる100haで同意の取り付けを完了。

【 蔵目喜加速化団地の概要 】

区域面積		人工林の内訳					
① (ha)	個人 有林	③ (ha)	人工林率 ④=③/① (%)	⑤ (ha)	搬出対象 の割合 ⑥=⑤/② (%)	同意取付面積	
	② (ha)					⑥ (ha)	取付割合 ⑦=⑥/④ (%)
760	690	415	54.6%	200	48.2%	100	50%

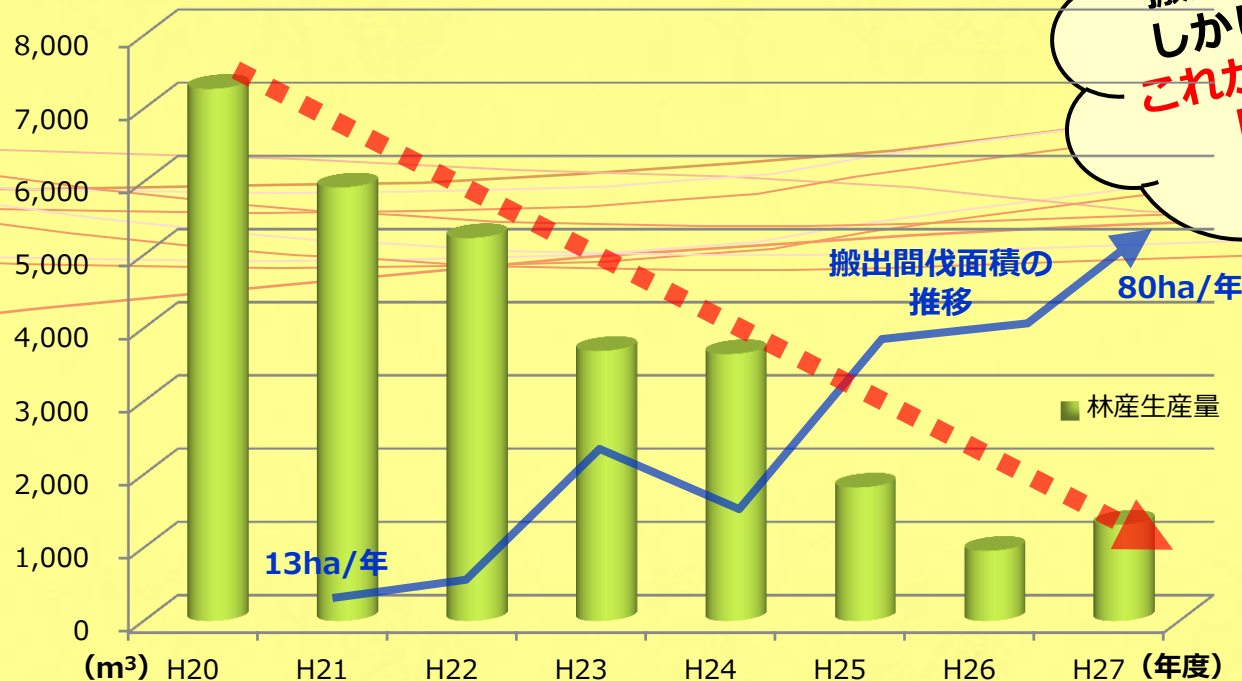
年間切れ目なく、
事業量を確保

おわりに

☆ 取り組みの方向性(搬出間伐+α)

○木材生産量の増大、いびつな齡級構成の平準化、安定した事業量(保育)の確保等に向けた「皆伐 → 再造林」の取り組みの加速化。

☆ 山口阿東森林組合における「林産事業」の推移



※ 林産生産量：山口阿東森林組合業務資料。搬出間伐面積：山口農林事務所統計資料

搬出間伐は年々増加！
しかし、林産事業は減少？
これからは、
「皆伐」も！





ご清聴
ありがとうございました。